



東地中海地域ニュース

レバノン：大統領選出国会の延期

(9月25日付現地報道)

1. 9月25日午前11時15分、国会事務局は、ベッリ国会議長が同日召集していた大統領選出国会に定足数を満たす国会議員が集まらなかったとして、大統領選出国会を10月23日に延期すると発表した。
2. 同25日午前10時半、ベッリ国会議長は、国会内国会議長室において親政府グループのハリーリ・ムスタクバル運動指導者と約15分間会談を行った。会談後、ハリーリ指導者は、「(ベッリ議長との)会談は新大統領選出に向けた前向きなものであった。我々は前進することが出来るであろう。自分は今後もベッリ国会議長やその他の国会内ブロック関係者と協議を続けるつもりである」と述べた。
ベッリ議長とハリーリ指導者の会談が行われたのは、今年3月以来半年振りのことである。

注：ベッリ国会議長は、24日にスフェイル・マロン派大司教(キリスト教マロン派の精神的指導者)を訪問し、新大統領選出に関して会談を行っており、今後しばらくは、コンセンサスをもって選出しうる新大統領候補が模索されるとみられている。